

日本一の飯豊町田園散居集落 (イザベラ・バードが褒め称えた風景)

—景観保全機能—

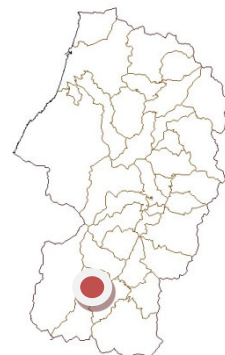
とよはらしゅうらく いいでまち
豊原集落・飯豊町



飯豊町散居集落
「心の古里いいでフォトコンテスト」優秀賞
(飯豊町観光協会主催)

飯豊連峰から流れ出る清流、白川、肥沃な扇状地に形成された田園散居集落は、日本で最も美しい景観と知られており、英国の旅行家「イザベラ・バード」が東洋のアルカディア郷（理想郷）と賞賛した日本の原風景である。

自然と共に生きる暮らしがつくり出した田園散居集落の農山村景観や歴史・文化・暮らしの知恵などを生かし、まちづくりを進めている。



いいでまち
山形県飯豊町



地元産米のどぶろく

〔景観の保全〕

飯豊町では、散居集落景観を形成する屋敷林や景観、暮らしについてワークショップを開催すると共に保全活動を実践し、今後、景観計画及び景観条例の制定に向けて取り組んでいく。

〔体験学習と教育、保健休養〕

農家民宿や農都交流プロジェクトにより、中学生教育旅行や企業の社員研修、台湾人をメインとした外国人等の受け入れ、農作業や郷土料理などの農村体験を通して、農業と食の大切さについて都市や諸外国へ発信している。

東日本最大級の「どんでん平ゆり園」は、散居集落展望台と併せて地域観光の核となっている。

〔地域社会の振興〕

東洋のアルカディア郷再生特区に認定（平成 16 年3月）され、宿泊業を営む2社で自ら生産した米を原料としたどぶろくを製造・提供している。

【令和2年度更新】



どんでん平ゆり園



春の散居集落



夏の散居集落